

請 願 文 書 表
(令和6年第2回定例会)

請 願 第 6 号	令和6年6月3日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	補聴器購入（加齢性難聴者）助成制度の創設を求める請願
紹 介 議 員	三 田 登 議員 堀 口 明 子 議員 高 山 敏 朗 議員
請 願 要 旨	<p>日頃より、市民の安心・安全のために奮闘されていることに、心より感謝申し上げます。</p> <p>八千代生活と健康を守る会は、昨年6月議会から議会ごとに表記の請願を提出し今回で5回目となります。</p> <p>これまで加齢性難聴者への助成制度を求める請願を提出しましたが採択されず、しかも、何故不採択としたのかの理由も意見も示されませんでした。市民の請願権を軽視し無視する対応は、およそ議会としての責任と役割を放棄しているといわざるを得ません。</p> <p>高齢者の難聴は単に「聞こえない」というだけでなく、他者とのコミュニケーションが困難になり、社会からの孤立を招きます。その結果として、認知機能が衰えていくと考えられています。</p> <p>日本では約1,900万人の難聴者がいますが、補聴器を使用している人は18%に過ぎません。物価高騰のなか、補聴器を購入しようとしても購入に至らず、日常生活に困難を抱えている方からの相談も寄せられています。</p> <p>補聴器購入費用を助成し、自分に合った補聴器を使用できるようにすることは、高齢者一人ひとりの生活の質を保証するうえでも、認知症予防・介護予防という意味でも非常に重要だと思えます。</p> <p>千葉県内では、浦安市、船橋市、印西市、鎌ヶ谷市など4市で実施されています。昨年12月議会には、他の団体から1,000名を超える署名が寄せられたのに、この声に耳を傾けることなく、不採択となってしまいました。</p> <p>八千代市で実施しようとするれば、上限2万円として初年度300人を対象にわずか600万円の予算があれば実現できます。補聴器購入にあたり市の助成制度が実現するよう、市議会からのバックアップをよろしくお願いします。</p> <p><請願要旨></p>

請 願 文 書 表
(令和6年第2回定例会)

加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成制度の創設を実現してください。